

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

| | | | | | |
|---------|---|--------|----|-----------|------|
| 整理番号 | ②-13 | 実施計画番号 | 16 | 事業開始年度 | |
| 事務事業名 | 防犯灯設置及び街路灯電気料等助成 | | | 事業終了年度 | |
| 担当課名 | まちづくり支援課 | | | 事務の種類(選択) | 自治事務 |
| 根拠法令等 | 関連事務事業 | | | | |
| 背景や経緯等 | 犯罪や交通事故のない明るいまちづくりの推進のため、防犯灯の設置や町内会の街路灯の整備や電気料を補助する。 | | | | |
| 事務事業の目的 | 防犯灯や街路灯の設置により、夜間の犯罪や交通事故等を防止する。 | | | | |
| 実施状況 | H25数値と比較して、減少傾向にあるが、目標数値には、まだ到達できる数値には至っていない。引き続き、目標値に向けて事業を継続していく。 | | | | |

【人件費の推移】

| | | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
|------------|---------|--------|------------|--------|
| 正職員 | 従事者数(人) | 2 | 2 | 2 |
| | 活動日数(日) | 60 | 100 | 100 |
| | 人件費(千円) | 4,320 | 7,200 | 7,200 |
| 正職員以外(選択↓) | 従事者数(人) | 1 | 1 | 1 |
| | 活動日数(日) | 60 | 60 | 60 |
| パートタイマー | 人件費(千円) | 251 | 251 | 251 |

【事業費の推移】

| | | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
|-----------|--|--------|------------|--------|
| 事業費合計(千円) | | 65,022 | 58,979 | 50,206 |

【指標】

| | | | | | | | |
|------|--------|--|----------------|--------|------------|--------|-----|
| 活動指標 | 活動指標名① | | 防犯灯設置数 | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 | |
| | | | 箇所 | 71 | 120 | 10 | |
| | 活動指標名② | | 街路灯補助金 | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 | |
| | | | 円 | 21,976 | 24,423 | 25,138 | |
| 成果指標 | 成果指標名① | | 犯罪件数(刑法犯 認知件数) | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 | |
| | | | 件 | 目標値 | 350 | 325 | 300 |
| | | | | 実績値 | 362 | 338 | |
| | | | | 達成度(%) | 97% | 96% | |
| | 成果指標名② | | 人身事故発生件数 | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 | |
| | | | 件 | 目標値 | 250 | 225 | 200 |
| | | | | 実績値 | 284 | 254 | |
| | | | | 達成度(%) | 88% | 89% | |

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

| ポイント | | 検証(選択) | 評価 | 点数 | 合計 | 検証の理由 |
|------------|---|---|--|---------|---------------------|---|
| 妥当性 | ① | 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか | A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている | A 2 | 4 | 存在意義の見直しの余地 0 / 4 防犯灯整備は公共性が高く、市が実施する妥当性は高い。 |
| | ② | 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか) | A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない | A 2 | | |
| 有効性 | ③ | 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | A 2 | 5 | 成果向上の余地 1 / 6 地域主導により整備されることで、住民自らによる防犯意識の高揚と地域の防犯力の向上が図られ、減少傾向にある。今後も目標の達成に向けて充実に図っていく必要がある。 |
| | ④ | 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | B 1 | | |
| | ⑤ | 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | A 2 | | |
| 効率性 | ⑥ | 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | B 1 | 5 | コスト削減の余地 1 / 6 294町内会の補助関係業務は、窓口の繁忙期と重なっていることから、事務軽減に向けた検討の余地がある。 |
| | ⑦ | 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | A 2 | | |
| | ⑧ | 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | A 2 | | |
| 公平性 | ⑨ | 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか | A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている | B 1 | 3 | 受益者負担適正化の余地 1 / 4 現在、町内会等の要望に基づいているが、町内会未設置地区への対応を検討する必要があると思われます。 |
| | ⑩ | 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | A 2 | | |
| | | | 現在の適性 | 17 / 20 | 改善の余地 3 / 20 | |

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **17** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **3** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

有効性を改善して継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

犯罪件数、人身事故件数とも目標に達していないが、減少傾向にある。有効性を改善して今後も継続していく。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

当該事業は、今後も継続することで、犯罪や事故防止に努めていく。